総合的な学習の時間（人権）学習指導案

１　主　　題　　公正な社会の実現をめざして

２　主題設定の理由（省略）

３　ね　ら　い

「職業選択の自由」を阻害する就職差別の存在を認識し，同和問題を自分の問題としてとらえ，誰もが公平な立場で職業選択ができる公正な社会の実現をめざそうとする態度を育てる。

４　指導計画（時間）

労働に対する意欲を高める

「児童労働について」（出典：I am a child）

（総合的な学習の時間）（２時間）

・世界の国々における児童労働の状況について理解させる。

自分と職業

「職業選びのポイント」（出典：じんけんスキルブック）

（総合的な学習の時間）（１時間）

・自分の適性と進路適正について考えさせる。

部落差別の歴史的背景を知る

「日本の人権獲得の歴史」（出典：わたしの願い）

（総合的な学習の時間）（２時間）

・差別や偏見に団結して立ち向かう姿から差別や偏見を許さない態度を養う。

現代の部落差別

「部落地名総鑑について」（出典：わたしの願い）

（総合的な学習の時間）（１時間）

・現代の社会にも，まだ差別や偏見が存在していることについて考えさせる。

就職差別

「この会社に就職したいですか」

（出典：じんけんスキルブック）（学級活動）（１時間）

・公正な就職をめざした様々な取組がされてきたことについて理解させる。

就職差別

「許せない就職差別」（出典：わたしの願い）

（総合的な学習の時間）（３時間）（本時３／３）

・公正な社会の実現をめざし，偏見や差別を解消していこうとする意欲を育てる。

自分について考える

鳴門教育大学教授

小坂さんの講演

（総合的な学習の時間）

・自分の価値観やものの考え方に気付き，世界の中の一人の人間として存在していることを考えさせる。

差別について考える

つどい学習（６月）

（道徳）

・差別や偏見が生まれる構造に気付き，差別や偏見をなくそうとする意欲を高める。

・仲間の意見を聞き，他を尊重する態度を育てる。

自分らしく働くことについて考える

厚生労働省主催

「就職ガイダンス」

（総合的な学習の時間）

・働くことの意義や自分らしく働くことの価値を自ら考えさせ，仲間と共に明るい未来の展望をもたせる。

常時の指導

○生活記録

○学年通信

○学級通信

○学級活動

○学年集会

・仲間と共に自分の思いや考えを伝え合う。

・自他を大切にしようとする意欲を高める。

今後の学習

同和問題

「娘の遺してくれたもの」（出典：わたしの願い）（道徳）　（２時間）

・人がもつことのできる本当の幸せとは何か，美しい生き方とは何かを考えさせ，差別解消にむけての実践力を養う。

5　本時の学習

（1）目　標

かつて使用されていた採用選考応募用紙から，どのような内容が差別選考につながるのかを理解させ，就職差別を許さず公正な社会を実現していくために自分にできることを考えていこうとする態度を育てる。

（2）普遍的な学習のテーマ　　法の下の平等

個別人権課題名　　同和問題

（3）展　開

学　習　活　動	指導上の留意点
1　前時の学習を振り返る。	○自分の個人的な資質を得点化され，それが採用・不採用の基準になっていたことに対して感じたことを思い起こさせる。　①
2　就職差別解消に向けての取組について学び，差別につながる項目について考える。	○現在の統一用紙になるまで活動を続けてきた人々の思いに共感させる。
3　公正な社会の実現をめざして，これからの自分の生き方について考え発表する。	○公正な社会の実現のために自分ができることを具体的に考えさせる。　②
4　本時のまとめをする。	○差別選考が行われている現実を自分の問題としてとらえ，社会に残る偏見や差別を見抜き，差別解消に向けて立ち向かおうとする態度を育てる。　②③

（4）評　価

・差別的選考項目が削除された理由やそれまでの経緯を理解することができたか。（知識的側面）①

・公正な社会の実現をめざし，就職差別を許さない気持ちをもち，自分にできることを考えることができたか。（価値的・態度的側面）②

・友達の思いを受け止め，自分の考えや思いを表現し伝えることができたか。（技能的側面）③